

法律相談、税金相談

ともに8/25

インボイス相談も
同日に受け付けます。

詳しくは支部へお問合せ下さい。



けんせつ北部

(購読料は組合費の中に含まれています。)

定価三十円

発行所
東京土建一般労働組合
城北ブロック会議
東京都豊島区西池袋 5-22-15
電話 豊島 (3986) 2471
北 (5390) 6021
板橋 (3963) 5325
練馬 (3825) 5522
発行人 寺島 耕平
発行予定日 毎月4回
1日、9日、17日、25日



7月6日区議会本会議最終日を傍聴、豊島支部提出の請願の可決を見届け区役所前でガッツポーズをする仲間たち



都民ファーストの会・国民民主党 中沢区議、原田区議との面談



公明党豊島区議団 ふま区議との面談

区議会への請願が採択

苦しい現状を訴え、賛成多数で可決

中東情勢に端を発した資材高騰、供給不足をうけ、豊島支部では6月4日に総務部契約管財課長と懇談をおこないました。その中で塗装、防水の組合員事業主から3月からの急激な変化、発注すら受けてもらえない現状を訴えました。契約管財課からは「今のところ困った声は聞いていない」との答えで、現場の声が届いていないと実感しました。

豊島支部として

1 中東情勢による悪影響や環境の変化など情報の共有を強化すること

2 区民や区内の事業所のための相談窓口の充実、周知の強化

3 都や国へ意見書の提出

その後、会派回りなどを展開し、6月12日に請願を提出、現場の声を届けました。陳情ではだめなのかという声もありましたが、悪影響の大きさや広がり方を踏まえ、陳情ではなく請願で行こうと決めました。6月29日に豊島区議会の子供文教委員会にて請願の審議がおこなわれ、豊島支部から大浦書記長と私、田中(執行委員)が意見陳述しました。その中でも現

場で起こっていること、組合に寄せられる情報などを伝え、苦しい現状を訴えました。「高い理想を言っているわけではない。ただ、元に戻って不安なく仕事をしたい」という切実な思いが実を結び、賛成多数で請願は採択されました。

そして、7月6日の豊島区議会最終日に請願と意見書が審議され、賛成多数で可決されました。一安心ですがこの苦しい現状が変わるまで声をあげつづけ、不安なく仕事ができるようにしていきたいと思いました。

(田中承宏椎名町分会教宣部長)



維新・無所属の会 泉谷区議との面談



立憲・れいわ・市民の会 塚田区議、川瀬区議との面談

上記4会派のほかに、自民党区議団 芳賀区議、井上区議 共産党区議団 垣内区議、小林区議、儀武区議、森区議とも面談しました。

平和な暮らしを祈り、願掛け

わたくしが長崎神社獅子舞について、元会員の先輩に聞いたことをお話しします。始まりは、江戸時代、西暦1688～1704年、5代将軍徳川綱吉のころで、長崎村の村人が、身体が弱っていた為に長崎神社に願を掛け、願いが叶ったお礼として獅子頭を彫刻して奉納したことからだそうです。それから幾度となく、流行り病が起った際には、とたんに神様に願いが通じ長崎村から病が消えたそうです。昔は、疫病が流行ると治す手立てがなく、たくさんの方が亡くなりました。なんとかしてその疫病を追い払う儀式をすることで、疫病退散、実りの秋に向けて五穀豊穡を願い、平和な暮らしが長く続きますようにと願掛けをしたのがきっかけだったようです。

その後、長崎神社獅子舞は何度が衰退



長崎獅子舞は、漆黒の羽を頭に付けた立ち獅子が腹に付けた太鼓を打ち鳴らしながら舞います

と復活を繰り返しましたが、平成4年(1992)に豊島区無形民俗文化財に指定されました。戦争や暴動など世界中で悲惨な状況が続いていますが、獅子舞を通して日本だけでなく、世界中にこの気持ちを届けたい気分です。改めて、日本も世界も、平和で安心して暮らせるように頑張りたいです。

(伊藤寿豊島支部教宣部長(池袋分会))

大盛況!
3名が入部

青年部ビアガーデン

5月23日(土)に豊島支部の青年部主催でビアガーデンを行いました。場所は新宿にあるヒルトン東京7階にて20名の参加がありました。池袋分会の小橋川さんの会社から知り合いを含めて9名の参加があり、初参加の方が大勢いて大いに盛り上がりました。その中で、組合や青年部の活動に興味がある人が数名いました。組合のことに興味がある人の話を聞くと、やはり組合費であったり協会けんぽとの違いであったりと、お金に関することを知りたいと思っている人が多いのが印象的でした。そもそも東京土建を知らない若い人が多かったのも、どうやって知ってもらうかが課題だと思いました。また、青年部に興味がある方は、普段どういった活動をしているのか等、活動



内容が気になっているようでした。今回のイベントで多くの若い方に東京土建や青年部のことを知ってもらい、3名の入部が決まりました。

今後も青年部の活動を多くの若い方に知ってもらえるようアピールを続けていきます。そして、新たな仲間を増やしていくため、随時広めていきます。

(川口和也青年部担当書記)

大盛況の住宅デー

3分会からのレポート



かなめ分会



住宅デーを フラワー公園で開催

かなめ分会の住宅デーを、6月14日に昨年に続いて千早フラワー公園で開催しました。10時の開会前から、モザイクタイルに、お子さんとその親御さんがたくさん集まり大人気でした。子ども木工教室の小物入れ作りも人気で人手が足りず、良田分会長や三井さんが頑張ってくれましたが、順番待ちの列が出来てしまい、視察に訪れた宮本委員長に急遽手伝いに入ってもらったほどでした。

包丁とぎにも依頼が続々と入り、大浦さんと青木さんと、そして上池袋本町分会から応援に来てくれた伏見さんが対応してくれました。また、研ぎ手では、和田さんとその彼女さん、玉木さんがとても頑張ってくれました。かなめ分会は、スタッフは少ないですが、良田分会長、大浦書記長、川村さん、青木さん、和田青年部長が中心になって、開催日までの間、分会執行委員会や拡大行動日に集まって議論を重ね、どんな住宅デーにしたいのか、みんなのイメージをまとめました。

宮本委員長ほか、伏見さんや和田さんの彼女さん、そしてキッチンカーで参加してくれた「茜の舞」(豊島区池袋本町2-6-2ドン・キホーテ北池袋店すぐ横にある人気ラーメン店)さんの協力のお陰もあって和気あいあいとした楽しい住宅デーを開催することができました。

(玉木良彦かなめ分会通信員)



南池袋分会



また来たよ、よく切れる ようになるから、と おなじみさんもたくさん

6月14日(日)午前10時から雑司が谷公園こどもひろばで開催しました。お天気は曇り空で、暑くなくちょうど良かったです。参加は23人でした。

包丁砥ぎは51本で、モザイクタイル、木工は38人の申し込みがありました。ストラックアウトやコップトイ等、雑司が谷公園の広場で遊んでいる子ども達も来てくれて盛況でした。

場所が住宅街の中にある公園なので人通りも多くはなく、包丁砥ぎの旗が3本立っているくらいで、後からお手伝いに来た人には、「目立たないね。住宅デーやっているのがわからない」と言ってチラシをまいてくれたりするほどでした。受付の前を通る人が「包丁砥ぎやっているの知らなかった。今は出かけているので間に合わない」と残念そうに言われ「来年も今頃やりますのでよろしくお願いします」というと、「日にちはどうやってわかるの」と聞かれ、「町会などの掲示板にポスター貼りますので見てください」と答えましたがやはり宣伝不足があると思いました。

包丁砥ぎの受付では、おなじみさんもたくさん来てくれて、「また来たよ。よく切れるようになるから」と笑顔で話されていました。本数が少ない分あまりお待たせしないで済んだのも良かったです。

朝早くからの準備は人数が少ないので大変でしたが、皆さんに喜んで頂き無事に終わり良かったです。来年はもっと多くの方に来てもらえるようにしたいです。

(新井睦子南池袋分会教宣部長)

池袋分会



数年ぶりの公園で開催 笑顔と交流広がる

池袋分会では、御嶽北公園で住宅デーを開催しました。数年ぶりの公園開催ということもあり、地域のみなさんに足を運んでもらえるか不安もありましたが、当日は晴天に恵まれ、例年より多くの方に来場いただきました。子どもたちの笑顔や仲間同士の会話が広がり、久しぶりの公園開催らしい、にぎやかで温かな雰囲気となりました。

開催に向けては、分会の仲間が協力し、近隣のみなさんへ約1,800枚のチラシをポスティングしました。地域を訪ねる中で、初めて住宅デーを知った方から「こういうことやっているんですね」と声をかけていただくこともあり、地域とのつながりを広げる機会となりました。

当日は、木工教室、包丁とぎ、住宅相談のほか、血管年齢チェックやフリーマーケットも実施しました。木工教室では子どもたちが夢中になって作品づくりに取り組み、包丁とぎや住宅相談では「きれいになって助かります」「直接相談できる場所があってよかった」といった声もいただき、地域のみなさんとの交流が生まれました。

また、他分会や他支部からも要員として仲間に参加していただき、多くの支えによって無事に開催することができました。今回の取り組みを通じて、地域とのつながりや仲間の力の大切さを改めて実感しました。一方で、包丁とぎの担い手や参加者を増やすことなど、今後に向けた課題も見えてきました。これからも池袋分会は、地域に寄り添い、頼れる組合として活動を続けていきます。

(白井理八池袋分会会長)

6年ぶり!! 麻雀大会開催! 大成功で閉幕

田中承宏 椎名町分会教宣部長



乃木美有麻雀プロを囲んでの対戦

5月24日、豊島支部としては6年ぶりとなる麻雀大会を開催しました。今回は日本プロ麻雀協会の乃木美有プロをゲストに迎え、裏方含め18人が久々の大会を楽しみました。

プロとの同卓では、和気あいあいとおしゃべりしながらも勝負どころでの大きな上がりに一喜一憂。ほかの卓では裏どらモロ乗りの大手手炸裂に上がった本人も驚いていました。今回がほぼ初めての方には経験者が後ろにつき指導しながらの対局。最初は戸惑っていた参加者も、徐々に流れをつかんで楽しんでいました。

今回は時間の都合上5半荘の合計スコアで順位を決めました。麻雀大会後の懇親会にて結果発表。3位に入った乃木美有プロを上回ったのは南池袋分会の同じ事業所から参加した西村さん、市川さんでした。6年前にも参加してくれた仲間が改めて強さを発揮する結果となりました。

一日を通して、楽しそうに打つ仲間の姿は今後の組合活動に大きな力をもたらしてくれると確信。年度内にもう一回やってほしいとの声も上がり、久々の麻雀大会は大成功で幕を閉じました。